

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校 日産愛知自動車大学校
設置者名	学校法人 日産学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページにて公開 <a href="https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/aichi/wp-content/uploads/2021/06/tai-syakutaisyouhyou.pdf">https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/aichi/wp-content/uploads/2021/06/tai-syakutaisyouhyou.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	ホームページにて公開 <a href="https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/aichi/wp-content/uploads/2021/06/18-20jigyousyuushi.pdf">https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/aichi/wp-content/uploads/2021/06/18-20jigyousyuushi.pdf</a>
財産目録	ホームページにて公開 <a href="https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/aichi/wp-content/uploads/2021/06/za-isanmokuroku.pdf">https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/aichi/wp-content/uploads/2021/06/za-isanmokuroku.pdf</a>
事業報告書	ホームページにて公開 <a href="https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/aichi/wp-content/uploads/2021/06/jig-youhoukokusyo.pdf">https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/aichi/wp-content/uploads/2021/06/jig-youhoukokusyo.pdf</a>
監事による監査報告(書)	ホームページにて公開 <a href="https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/aichi/wp-content/uploads/2021/06/ka-nsahoukokusyo.pdf">https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/aichi/wp-content/uploads/2021/06/ka-nsahoukokusyo.pdf</a>

2. 教育活動に係る情報

① -1 学科等の情報（自動車整備科）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	自動車整備科	○	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,971.2 単位時間	704.0 単位時間		1,267.2 単位時間		
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
200人		206人	160人	13人	11人	24人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要) 学年の基準修業週は45週とし1週間の修業時限は原則として20時限とする。1時限は80分とし、1教育単位時間50分とする 1年次：910時間 2年次：890時間 の専門教育を行う。

<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)          学習評価は教科ごとに下記試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められません。          可否の判定は下記「判定基準」により行います。</p> <p>〈判定基準〉</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 学科、実習共に期末試験得点を成績得点とします。</li> <li>2) 学科、実習共に成績得点が60点以上を合格とします。          ※国家2級資格取得のための特定の教科においては、80点以上を合格とします。</li> <li>3) 成績得点を基に評定(優・良・可)、成績順位が決められます。          ※優:80点以上、良:60点以上、可:60点未満          ※評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の出席率を満たした場合に決められます。</li> </ol>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)          卒業認定方針に基づき、全専門科目の履修を確認した上で、授業態度、出欠状況等を鑑み、卒業を認定している。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)          クラス担任制をとり、学生の相談を受け、アドバイス等の対応を行う状況により個人面談や保護者面談を行う</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
76人 (100%)	2人 (2.6%)	72人 (94.7%)	2人 (2.6%)
(主な就職、業界等) 日産販売会社、メーカー系販売会社、自動車関連サプライヤ			
(就職指導内容) オリジナルテキストを用いたキャリア形成教育、外部講師によるキャリア育成教育、就職先採用担当者による就職ガイダンスなど。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 2級ガソリン自動車整備士、2級ジーゼル自動車整備士			
(備考)(任意記載事項) 2020年度100名へ定員変更			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
182 人	10 人	5.5%
(中途退学の主な理由) 学力不振、経済的理由、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による定期的な個人面談、専門カウンセラーによるカウンセリングの実施、等		

①-2 学科等の情報（自動車整備・カーボディマスター科）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	自動車整備・カーボディマスター科	—	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,963.2 単位時間	972.8 単位時間		1,990.4 単位時間		
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
75人		44人	1人	2人(3年次)	0人(3年次)	2人(3年次)	
※1・2年次の教員数は自動車整備科に準ずる。							

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>学年の基準修業週は45週とし1週間の修業時限は原則として20時限とする。1時限は80分とし、1教育単位時間50分とする</p> <p>1年次：910時間 2年次：890時間 3年次：994時間 の専門教育を行う。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>学習評価は教科ごとに下記試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められません。</p> <p>可否の判定は下記「判定基準」により行います。</p> <p>〈判定基準〉</p> <p>1) 学科、実習共に期末試験得点を成績得点とします。</p> <p>2) 学科、実習共に成績得点が60点以上を合格とします。</p> <p>3) 成績得点を基に評定（優・良・可）、成績順位が決められます。</p> <p>※優：80点以上、良：60点以上、可：60点未満</p> <p>※評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の出席率を満たした場合に決められます。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>卒業認定方針に基づき、全専門科目の履修を確認した上で、授業態度、出欠状況等を鑑み、卒業を認定している。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>クラス担任制をとり、学生の相談を受け、アドバイス等の対応を行う状況により個人面談や保護者面談を行う</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 自動車販売会社			
(就職指導内容) オリジナルテキストを用いたキャリア形成教育、外部講師によるキャリア育成教育、就職先採用担当者による就職ガイダンスなど。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 2級ガソリン自動車整備士、2級ジーゼル自動車整備士、車体自動車整備士			
(備考)（任意記載事項） 2019年度開設のため就職実績なし。 2020年度定員25名へ定員変更			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
18人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 学力不振、経済的理由、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による定期的な個人面談、専門カウンセラーによるカウンセリングの実施、等		

①-3 学科等の情報（自動車整備・マスターメカニック科）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	自動車整備・マスターメカニック科	—	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,960.0 単位時間	942.4 単位時間		2,017.6 単位時間		
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
45人		24人	0人	1人(3年次)	1人(3年次)	2人(3年次)	
※1・2年次の教員数は自動車整備科に準ずる。							

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>学年の基準修業週は45週とし1週間の修業時限は原則として20時限とする。1時限は80分とし、1教育単位時間50分とする</p> <p>1年次：910時間 2年次：890時間 3年次：810時間 の専門教育を行う。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>学習評価は教科ごとに下記試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められません。</p> <p>可否の判定は下記「判定基準」により行います。</p> <p>〈判定基準〉</p> <p>1) 学科、実習共に期末試験得点を成績得点とします。</p> <p>2) 学科、実習共に成績得点が60点以上を合格とします。</p> <p>3) 成績得点を基に評定（優・良・可）、成績順位が決められます。</p> <p>※優：80点以上、良：60点以上、可：60点未満</p> <p>※評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の出席率を満たした場合に決められます。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>卒業認定方針に基づき、全専門科目の履修を確認した上で、授業態度、出欠状況等を鑑み、卒業を認定している。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>クラス担任制をとり、学生の相談を受け、アドバイス等の対応を行う状況により個人面談や保護者面談を行う</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 （ %）	0人 （ %）	0人 （ %）	0人 （ %）
（主な就職、業界等） 自動車販売会社			
（就職指導内容） オリジナルテキストを用いたキャリア形成教育、外部講師によるキャリア育成教育、就職先採用担当者による就職ガイダンスなど。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 2級ガソリン自動車整備士、2級ジーゼル自動車整備士、国内B級ライセンス			
（備考）（任意記載事項） 2019年度開設のため就職実績なし。2019年度定員15名。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
18人	0人	0%
（中途退学の主な理由） 学力不振、経済的理由、進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） クラス担任による定期的な個人面談、専門カウンセラーによるカウンセリングの実施、等		

①-4 学科等の情報（自動車整備・トータルマスター科）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	自動車整備・トータル マスター科	—	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3,952.0 単位時間	1,211.2 単位時間		2,740.8 単位時間		
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		10人	0人	※1・2年次は自動車整備科、 3年次は自動車整備・カーボディマスター科、 4年次は自動車整備・マスターメカニク科 の教員数に準ずる。			

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>学年の基準修業週は45週とし1週間の修業時限は原則として20時限とする。1時限は80分とし、1教育単位時間50分とする</p> <p>1年次：910時間 2年次：890時間 3年次：994時間 4年次：810時間 の専門教育を行う。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要）</p> <p>学習評価は教科ごとに下記試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められません。 可否の判定は下記「判定基準」により行います。</p> <p>〈判定基準〉</p> <p>1) 学科、実習共に期末試験得点を成績得点とします。 2) 学科、実習共に成績得点が60点以上を合格とします。 3) 成績得点を基に評定（優・良・可）、成績順位が決められます。 ※優：80点以上、良：60点以上、可：60点未満 ※評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の出席率を満たした場合に決められます。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要）</p> <p>卒業認定方針に基づき、全専門科目の履修を確認した上で、授業態度、出欠状況等を鑑み、卒業を認定している。</p>
<p>学修支援等</p> <p>（概要）</p> <p>クラス担任制をとり、学生の相談を受け、アドバイス等の対応を行う 状況により個人面談や保護者面談を行う</p>



卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) 自動車販売会社			
(就職指導内容) オリジナルテキストを用いたキャリア形成教育、外部講師によるキャリア育成教育、就職先採用担当者による就職ガイダンスなど。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 2級ガソリン自動車整備士、2級ジーゼル自動車整備士、車体自動車整備士、国内B級ライセンス			
(備考)（任意記載事項） 2019年度開設のため就職実績なし。2019年度定員5名。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 学力不振、経済的理由、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による定期的な個人面談、専門カウンセラーによるカウンセリングの実施、等		

① -5 学科等の情報（一級自動車工学科）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	1級自動車工学科	-	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	4,068.8 単位時間	1,350.4 単位時間		2,718.4 単位時間		
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
140人		75人	0人	4人	8人	12人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>学年の基準修業週は45週とし1週間の修業時限は原則として20時限とする。1時限は80分とし、1教育単位時間50分とする</p> <p>1年次：870時間 2年次：930時間 3・4年次：1800時間 の専門教育を行う。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>学習評価は教科ごとに下記試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められません。</p> <p>合否の判定は下記「判定基準」により行います。</p> <p>（判定基準）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 学科、実習共に期末試験得点を成績得点とします。</li> <li>2) 学科、実習共に成績得点が70点以上を合格とします。 ※国家2級資格取得のための特定の教科においては、80点以上を合格とします。</li> <li>3) 成績得点を基に評定（優・良・可）、成績順位が決められます。 ※優：80点以上、良：70点以上、可：70点未満 ※評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の出席率を満たした場合に決められます。</li> </ol>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>卒業認定方針に基づき、全専門科目の履修を確認した上で、授業態度、出欠状況等を鑑み、卒業を認定している。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>クラス担任制をとり、学生の相談を受け、アドバイス等の対応を行う状況により個人面談や保護者面談を行う</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
31人 (100%)	0人 ( 0%)	31人 (100%)	0人 ( 0%)
(主な就職、業界等) 日産販売会社、メーカー系販売会社、自動車関連サプライヤ			
(就職指導内容) 外部講師による就職授業			
(主な学修成果（資格・検定等）) 2級ガソリン自動車整備士、2級ジーゼル自動車整備士、1級小型自動車整備士			
(備考)（任意記載事項） 2019年度35名へ定員変更。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
107人	2人	1.9%
(中途退学の主な理由) 学力不振、経済的理由、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による定期的な個人面談、専門カウンセラーによるカウンセリングの実施、等		

① -6 学科等の情報 (マスターメカニク科)

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	マスターメカニク科	-	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	988.8 単位時間	238.4 時間	時間	750.4 時間	時間	時間
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
25人		1人	0人	1人	1人	2人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>学年の基準修業週は 45 週とし 1 週間の修業時限は原則として 20 時限とする。1 時限は 80 分とし、1 教育単位時間 50 分とする 810 時間 の専門教育を行う。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <p>学習評価は教科ごとに下記試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められません。 可否の判定は下記「判定基準」により行います。</p> <p>〈判定基準〉</p> <p>1) 学科、実習共に期末試験得点を成績得点とします。 2) 学科、実習共に成績得点が 60 点以上を合格とします。 3) 成績得点を基に評定 (優・良・可)、成績順位が決められます。 ※優：80 点以上、良：60 点以上、可：60 点未満 ※評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の出席率を満たした場合に決められます。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>卒業認定方針に基づき、全専門科目の履修を確認した上で、授業態度、出欠状況等を鑑み、卒業を認定している。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>クラス担任制をとり、学生の相談を受け、アドバイス等の対応を行う 状況により個人面談や保護者面談を行う</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
3人 (100%)	0人 (0%)	3人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 自動車販売会社、自動車関連サプライヤ			
(就職指導内容) オリジナルテキストを用いたキャリア形成教育、外部講師によるキャリア育成教育、就職先採用担当者による就職ガイダンスなど。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 国内B級ライセンス			
(備考) (任意記載事項) 応募資格：国家二級自動車整備士資格を有する方。（資格取得見込みの方を含む） 2021年度廃止、2021年度募集停止。 高等教育修学支援制度対象外。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 学力不振、経済的理由、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による定期的な個人面談、専門カウンセラーによるカウンセリングの実施、等		

## ②学校単位の情報

### a) 「生徒納付金」等 (2021年4月)

学科名	学年	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
自動車整備科	1年次	240,000円	642,000円	360,000円	施設設備整備費、実験実習費
	2年次	-	642,000円	360,000円	施設設備整備費、実験実習費
自動車整備・ カーボディマスター科	1年次	240,000円	642,000円	360,000円	施設設備整備費、実験実習費
	2年次	-	642,000円	360,000円	施設設備整備費、実験実習費
	3年次	-	642,000円	400,000円	施設設備整備費、実験実習費
自動車整備・ マスターメカニック科	1年次	240,000円	642,000円	360,000円	施設設備整備費、実験実習費
	2年次	-	642,000円	360,000円	施設設備整備費、実験実習費
	3年次	-	642,000円	450,000円	施設設備整備費、実験実習費
自動車整備・ トータルマスター科	1年次	240,000円	642,000円	360,000円	施設設備整備費、実験実習費
	2年次	-	642,000円	360,000円	施設設備整備費、実験実習費
	3年次	-	642,000円	400,000円	施設設備整備費、実験実習費
	4年次	-	642,000円	450,000円	施設設備整備費、実験実習費
一級自動車 工学科	1年次	240,000円	642,000円	360,000円	施設設備整備費、実験実習費
	2年次	-	642,000円	360,000円	施設設備整備費、実験実習費
	3年次	-	642,000円	450,000円	施設設備整備費、実験実習費
	4年次	-	642,000円	450,000円	施設設備整備費、実験実習費
マスターメカニック科	3年次	240,000円	642,000円	450,000円	施設設備整備費、実験実習費
修学支援 (任意記載事項)					
特待生奨学金制度 25万円 若干名、遠隔地奨学金 25万円 若干名、女子奨学金制度 5万円 全員、 企業推薦奨学金 25万円 全員、留学生特別奨学金制度 25万円 日本語能力検定 N2 取得者					

### b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/aichi/wp-content/uploads/2021/06/jikotenkenhyouka.pdf">https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/aichi/wp-content/uploads/2021/06/jikotenkenhyouka.pdf</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 実践的かつ専門的な職業教育を実施するにあたり、学校関係者による学校評価を実施し、 学校運営の継続的改善を図ることを目的に、業界団体の代表、自治体の代表、卒業生、 業界企業代表、等からなる「学校関係者評価委員会」を設ける。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
名古屋市港区役所 区政部長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日	自治体代表
東海日産自動車株式会社 取締役執行責任者	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日	企業代表
愛知県自動車整備振興会 部長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日	団体代表
愛知日産自動車株式会社	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日	卒業生代表
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 令和3年6月28日(月)に学校関係者評価委員会を開催のため、その後学校ホームページ にアップ予定。		

第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）

<https://www.nissan-gakuen.ac.jp/school/aichi/>